

# 今日の給食

令和6年6月28日



今日の献立

(年少児のプレートです。)

ごはん、ウィンナーとキャベツの中華炒め、うすくず汁、水無月

(牛乳は毎日です。)

6月30日は京都で「水無月（みなづき）」というお菓子を食べる風習があります。「夏越祓（なごしのはらえ）」とって、京都では、暑さをはらう意味がある水無月を食べて、無病息災（むびょうそくさい）をねがいます。今日は「水無月」についてのクイズと紹介をします。

水無月は昔の呼び方でどの月のことをを指すでしょう？

①3月      ②6月      ③9月

…正解は②の6月です。田んぼに水を入れ、ほかに使う水がなくなってしまうことから「水無月（みなづき）」と呼ばれたという説があります。

またその昔、室町時代の宮中（きゅうちゅう）では氷の節句の行事として、氷を取り寄せて暑さをはらっていました。氷は庶民（しょみん）には手に入れることができない貴重（きちょう）なものだったため、氷に似せて作ったお菓子を食べ、夏の暑さを乗り切ろうとしたそうです。

また上にのっている小豆は邪気（じゃき）をはらうという意味があります。今日は朝早くから調理員さんが手作りで作っています。

京都での風習をぜひ知って、美味しくいただきましょう。